

2003年第11週報告分

- 発生動向総覧 / 調査票通信
- 全数届出患者数一覧表
- 定点報告疾病集計表
- 疾病別グラフ(四類定点週報告分)
- 病原体検出情報(表・グラフ)
 - 感染性胃腸炎 -
- 年齢階級別累計表
- 保健所別累計表
- 保健所別定点当たり累計表

感染症トピックス

- 重症急性呼吸器症候群(SARS)

東京都医師会感染症予防検討委員会

事務局:東京都立衛生研究所疫学情報室

電話:03-3363-3213(直通)

FAX:03-5332-7365

E-mail: idsc@tokyo-eiken.go.jp

アドレス: www.tokyo-eiken.go.jp/IDSC/



(全数情報)

- ・細菌性赤痢が4件報告された。フレキシネル菌1件(推定感染地:国内)、ソネ菌3件(推定感染地:インド1件、インドネシア2件)である。国内例は、6歳男子で最近渡航歴はなく、感染原因は不明である。
- ・腸チフスが1件報告された。推定感染地はその他(遠洋漁業船内)である。
- ・腸管出血性大腸菌感染症が2件報告された。O157(VT2産生株1件、VT1+VT2産生株1件)である。そのうち入院は1件で、HUSの報告はなかった。
- ・アメーバ赤痢が5件報告された。推定感染地は中国・東南アジア1件、グアム・オーストラリア1件、国内3件で、推定感染経路は食品等による経口感染1件、同性間性的接触2件、不明2件である。
- ・急性ウイルス性肝炎が2件報告された。A型1件(感染経路:不明)、B型1件(推定感染経路:同性間性的接触)で、推定感染地は国内である。
- ・クロイツフェルト・ヤコブ病が1件報告された。孤発性で、臨床診断で決定された。感染経路は不明である。
- ・HIV感染症が6件報告された。AIDS2件、無症候性キャリア3件、その他1件で、推定感染経路は異性間性的接触4件、同性間性的接触2件である。
- ・ジアルジア症が1件報告された。推定感染地はシリアである。
- ・髄膜炎菌性髄膜炎が1件報告された。血清群はY群で、71歳男性の血液より検出された。感染地、感染経路とも不明である。
- ・梅毒が3件報告された。早期顕症梅毒 期1件、早期顕症梅毒 期1件、無症候梅毒1件で、感染経路は異性間性的接触2件、同性間性的接触1件である。
(推定される感染地は医師の届出によるものです)

(定点情報)

- ・インフルエンザは引き続き減少している。
- ・麻疹、成人麻疹が少し増加した。今後の推移を見る必要がある。

(病原体情報)

- ・呼吸器感染症4名の咽頭拭い液からPCR法により、アデノウイルスの遺伝子が検出された。このうち、肺炎発症の2日後に突発疹を併発した患者についてはヒトヘルペスウイルス6型の遺伝子も検出された。
- ・急性胃腸炎1名の糞便からアデノウイルス40/41型が分離された。
- ・不明熱2名の咽頭拭い液のうち、1件からはアデノウイルス1型が、他の1件からはアデノウイルス2型が分離された。
- ・胃腸炎2名のふん便からELISA法によりロタウイルスの抗原が検出された。
- ・菌株で搬入されたA群溶血性レンサ球菌5株のT型は12型3株、28型1株およびUT1株であった。
- ・菌株で搬入されたMRSA2株のコアグラマーゼ型はいずれも 型であった。
- ・梅毒特異抗体が101検体中2件、クラミジア・トラコマチス特異抗体が101検体中28件、クラミジア・トラコマチスの遺伝子が9検体中2件検出された。
- ・胃腸炎集団発生の10事例において、患者21名からNV(SRSV)が検出された。
- ・定点から搬入された頸管拭い液7検体中1件からパピローマウイルスの遺伝子が検出された。

調査票通信

定点医療機関からのコメントを掲載

大田区

・インフルエンザ3名ともB型。

中野区

・減っていたインフルエンザ様疾患が今週は多かった。但し、インフルエンザ抗原迅速診断キットが切れて無いため、確定診断ではない。
・インフルエンザはなお散発例あり。

町田

・15歳男児の麻疹、平成元年にワクチン接種済み。

多摩東村山

・5例ともインフルエンザB型です。

全数届出患者数一覧表 2003年 11週

分類	疾病名	東京都分(報告週)					全国分(診断週)	
		8週	9週	10週	11週	年累計	11週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	ペスト							
	マ・ルブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	コレラ					1		4
	細菌性赤痢	1	4		4	22	9	109
	腸チフス		1		1	4	2	15
	パラチフス					2		5
	急性灰白髄炎							
	ジフテリア							
三類	腸管出血性大腸菌感染症	2		1	2	9	6	93
四類 (全数届出)	アメ-バ赤痢	1	3	3	5	24	8	107
	エキノコックス症							3
	黄熱							
	オウム病							7
	回歸熱							
	ウイルス性肝炎(急性肝炎)	1	4	3	2	28	10	181
	Q熱							1
	狂犬病							
	クリプトスポリジウム症						1	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病				1	2		23
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					2	1	21
	後天性免疫不全症候群	5	6	4	6	64	10	166
	コクシジオイデス症							
	ジアルジア症		1		1	5	1	11
	腎症候性出血熱							
	髄膜炎菌性髄膜炎				1	2	2	7
	先天性風疹症候群							
	炭疽							
	ツツガムシ病						1	28
	デング熱					2		4
	日本紅斑熱							
	日本脳炎							
	乳児ボツリヌス症							
	梅毒	3	2	1	3	16	1	92
	破傷風		2			2	1	11
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1			1		13
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	ブルセラ症							
	発疹チフス							
マラリア					4		18	
ライム病								
レジオネラ症	1		1		6	1	33	
ウエストナイル熱								

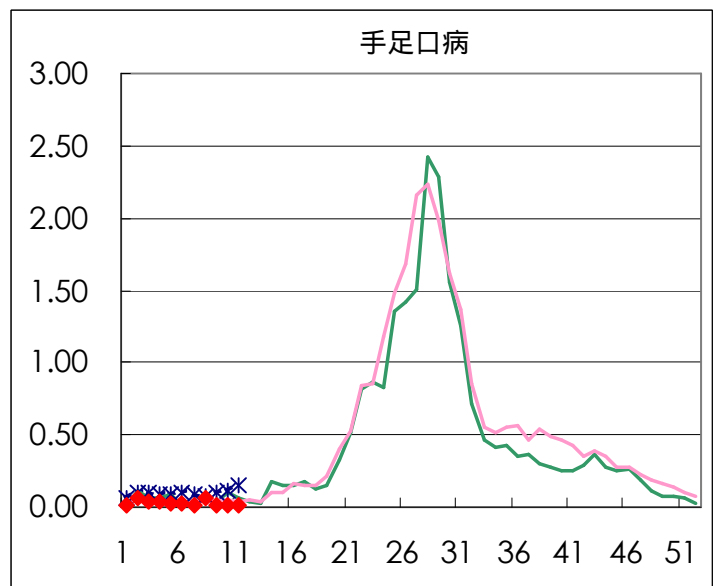
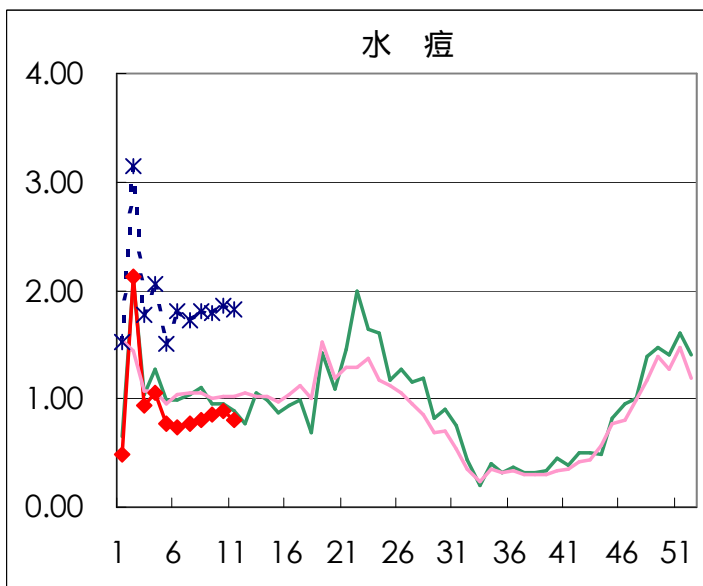
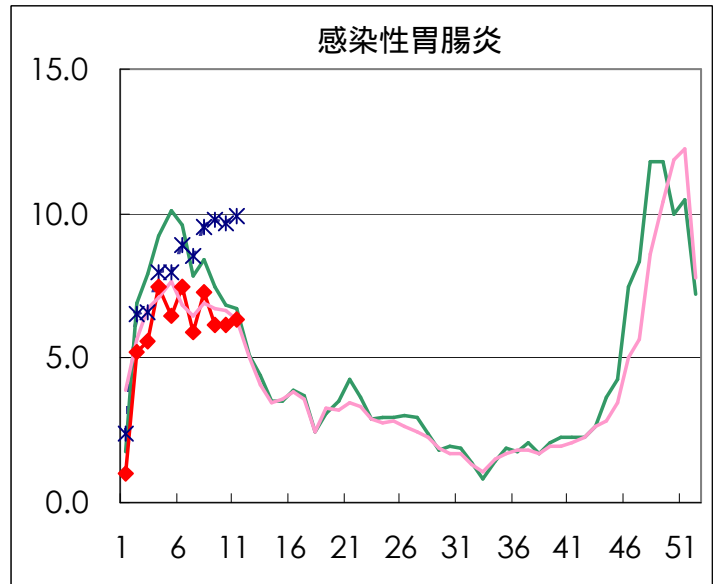
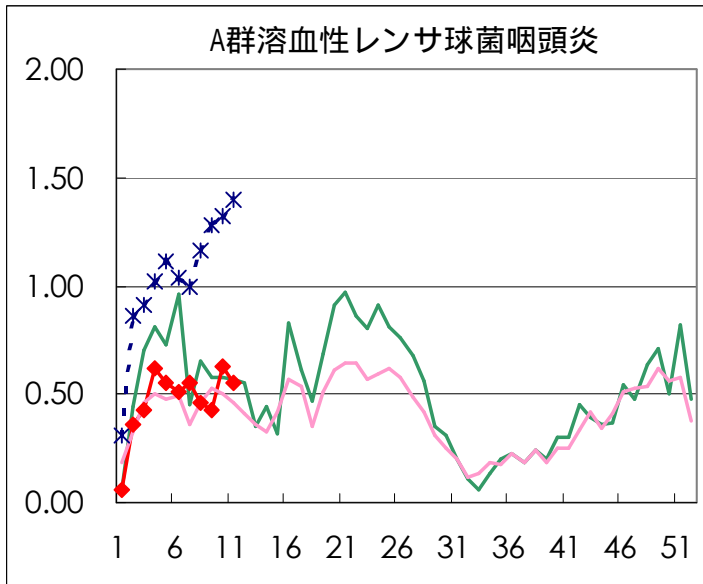
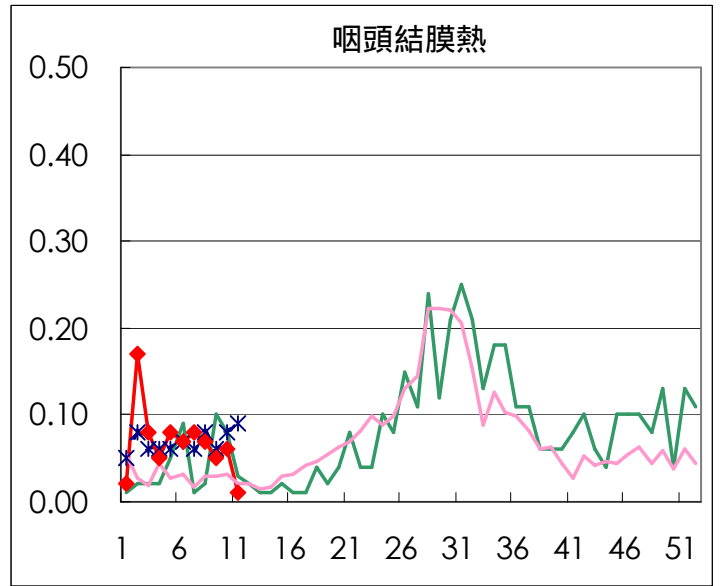
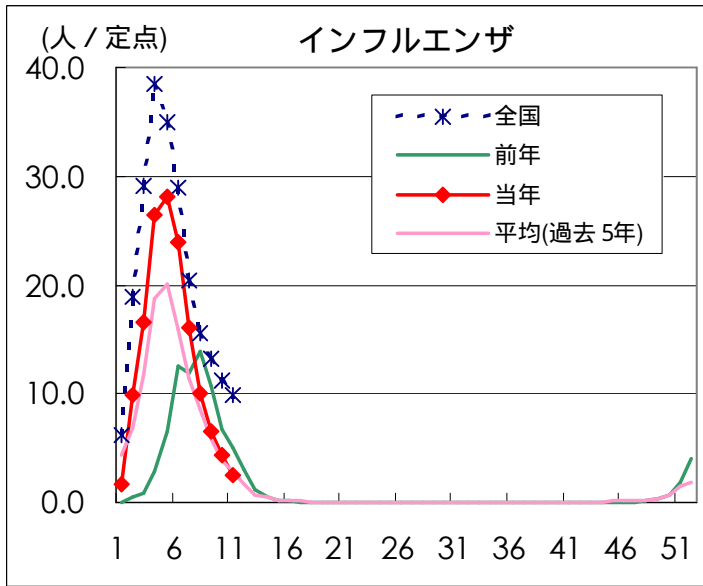
医師からの追加届出により増加することがあります(2003/03/19集計)。

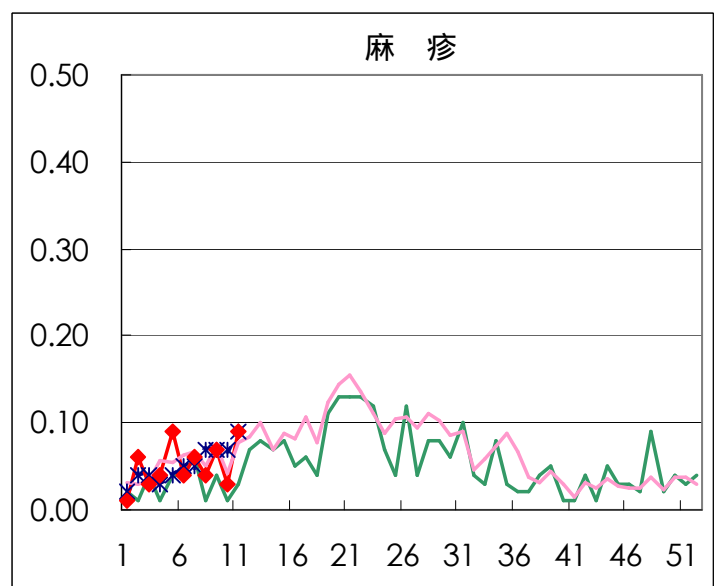
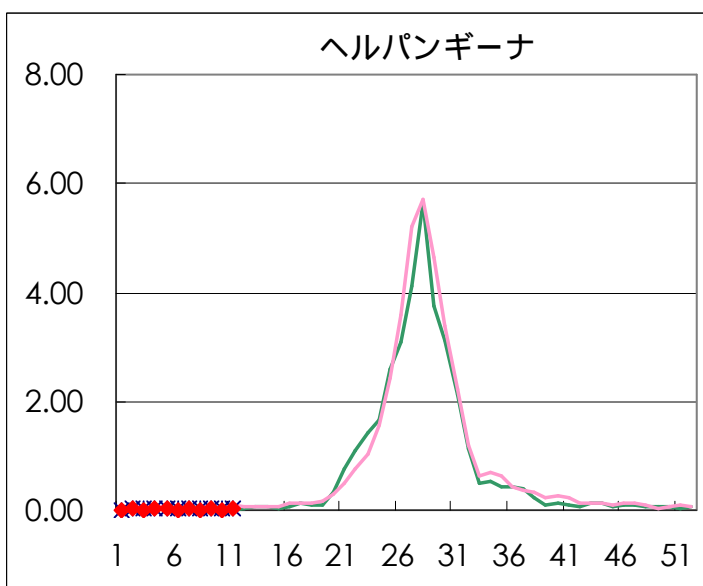
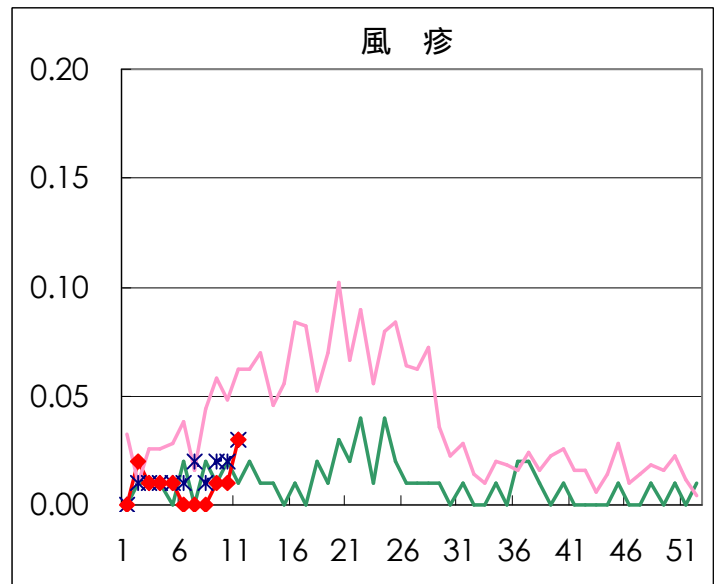
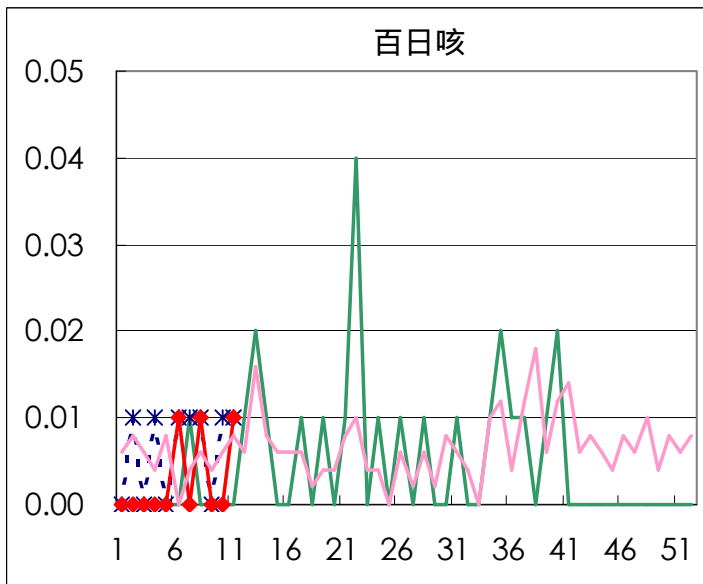
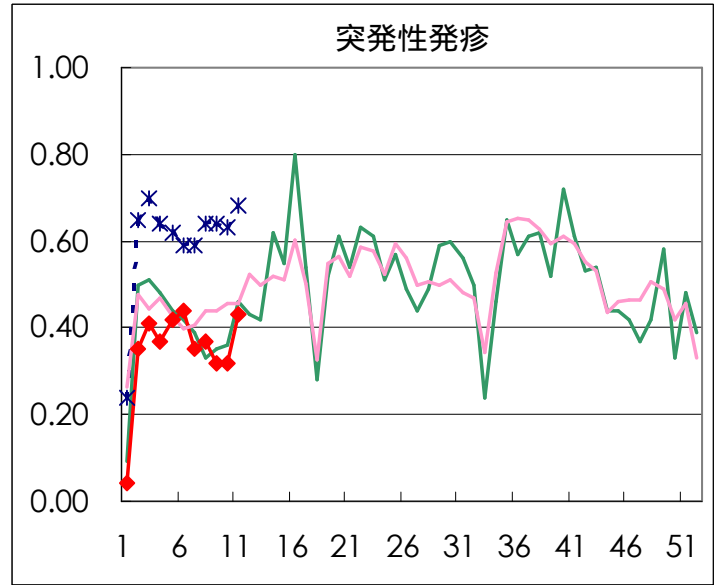
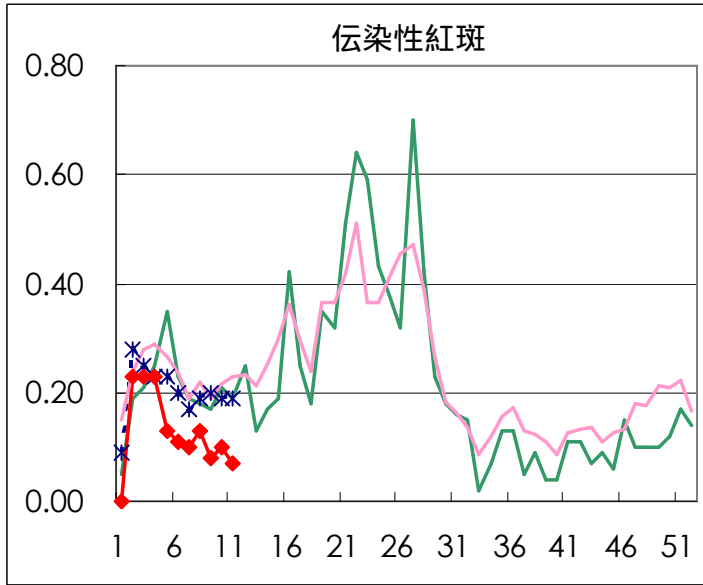
定点報告疾病集計表（男女別）

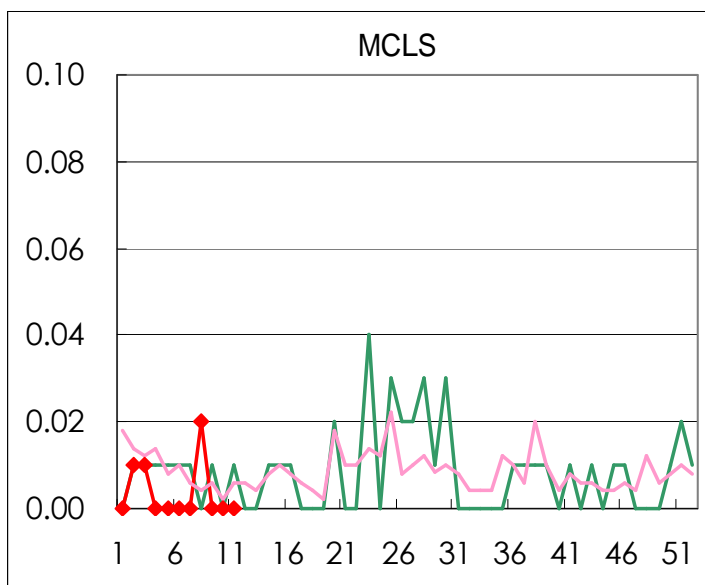
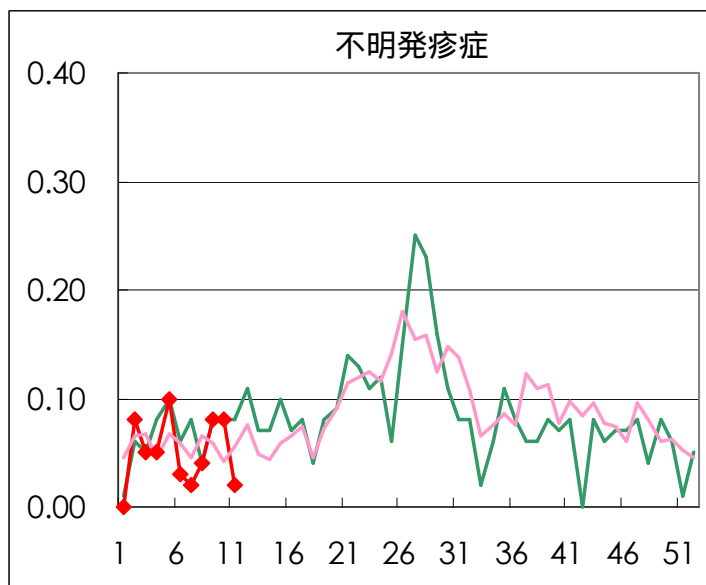
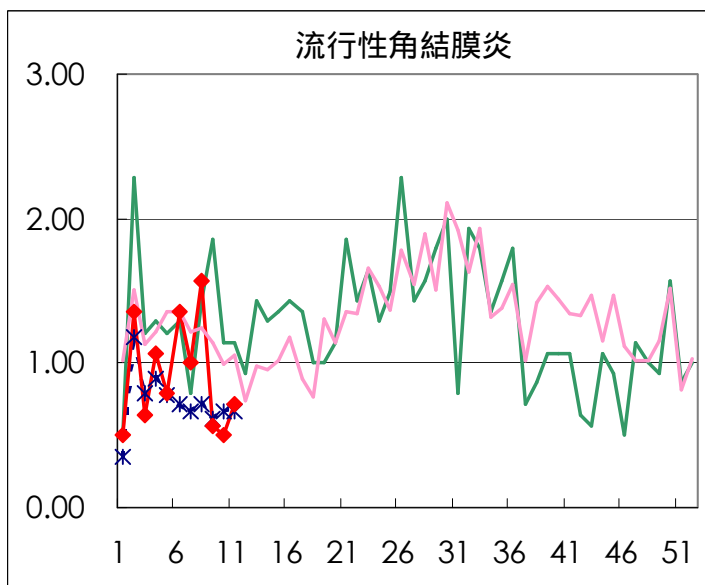
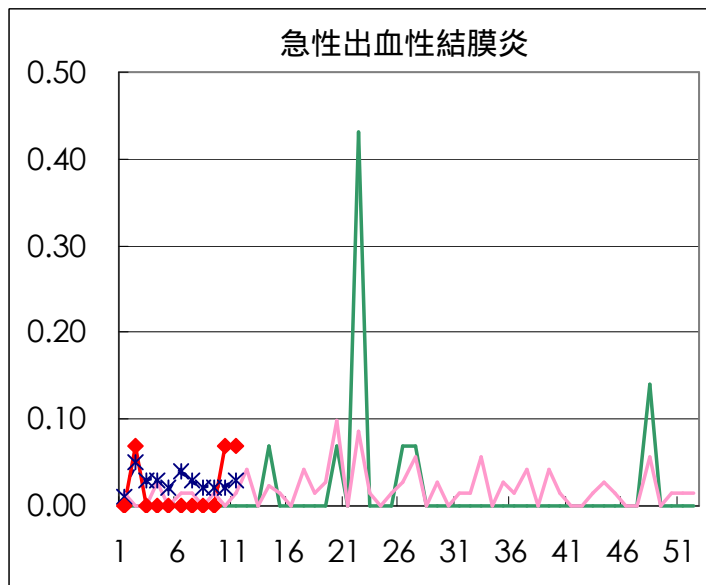
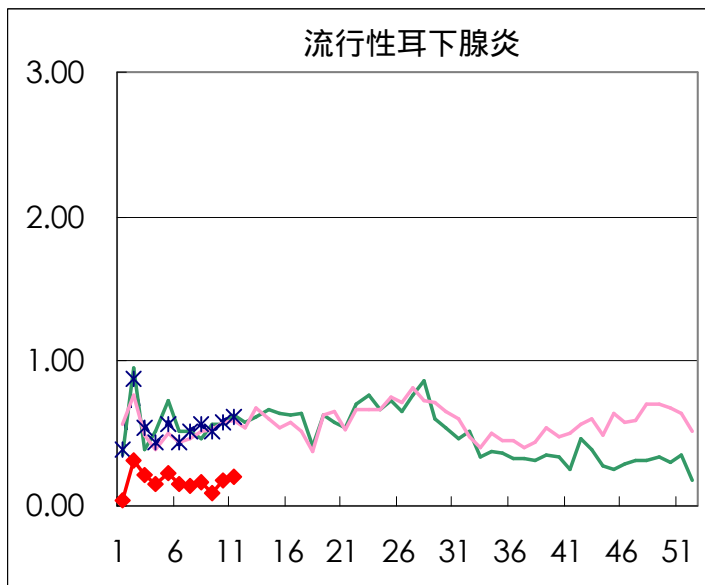
疾病名	性	2003年 週				累計
		8	9	10	11	
インフルエンザ	男	878	582	369	206	2035
	女	918	573	391	248	2130
咽頭結膜熱	男	5	2	3	2	12
	女	5	5	5		15
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	32	36	46	44	158
	女	33	25	43	34	135
感染性胃腸炎	男	541	435	454	457	1887
	女	493	434	419	448	1794
水痘	男	63	71	61	57	252
	女	51	51	64	56	222
手足口病	男	2		1		3
	女	6	1	1	1	9
伝染性紅斑	男	12	4	5	5	26
	女	6	7	9	5	27
突発性発疹	男	24	26	20	24	94
	女	28	20	26	37	111
百日咳	男				1	1
	女	1				1
風疹	男		1	1	3	5
	女				1	1
ヘルパンギーナ	男	1	1		1	3
	女	1	2	2	2	7
麻疹(成人以外)	男	4	8	2	5	19
	女	2	2	2	8	14
流行性耳下腺炎	男	13	7	16	16	52
	女	10	6	9	13	38
不明発疹症	男	3	6	8		17
	女	2	5	4	3	14
M C L S	男	1				1
	女	2				2
急性出血性結膜炎	男			1	1	2
	女					
流行性角結膜炎	男	9	6	4	5	24
	女	13	2	3	5	23
急性脳炎（日本脳炎を除く）	男	1				1
	女					
細菌性髄膜炎	男					
	女					
無菌性髄膜炎	男					
	女					
マイコプラズマ肺炎	男	1			1	2
	女	2	2			4
クラミジア肺炎（オウム病は除く）	男					
	女					
成人麻疹	男	4	2	1	2	9
	女	1	1	1	3	6

「累計」欄は、当週を含む過去4週分の合計を示したものです。空欄は、報告がなかったことを示しています。

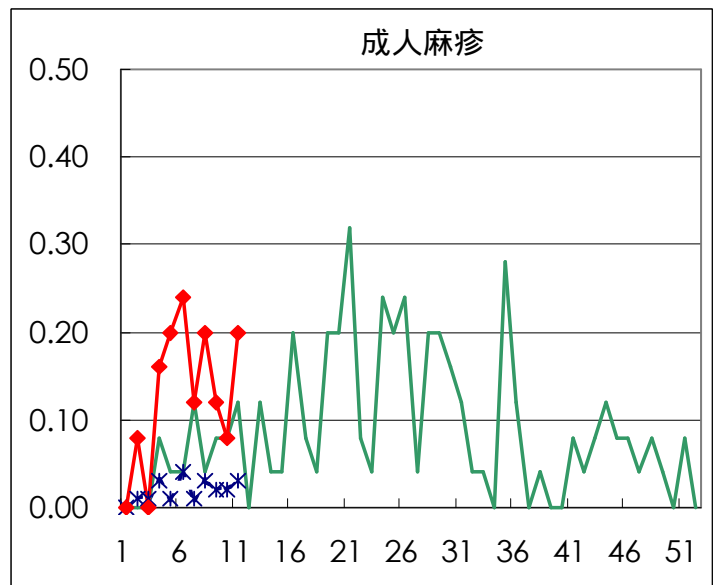
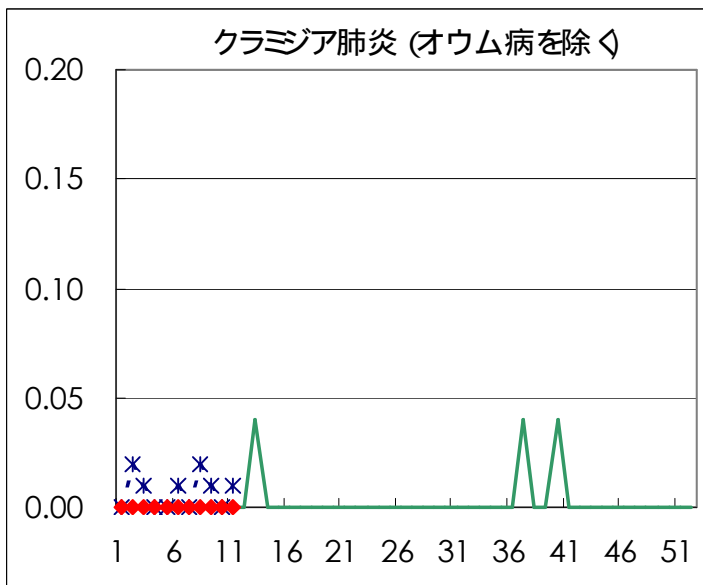
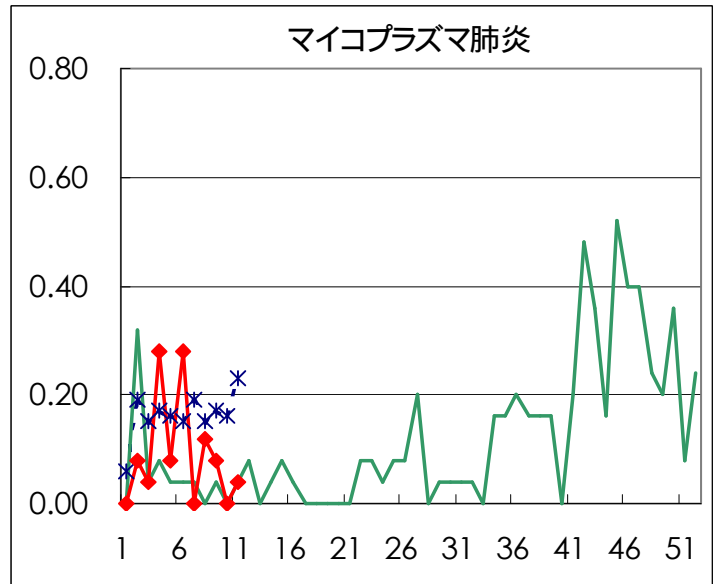
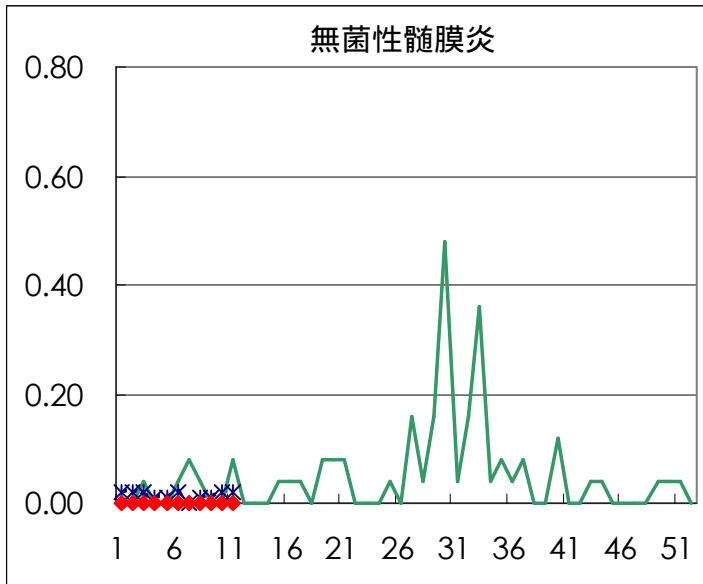
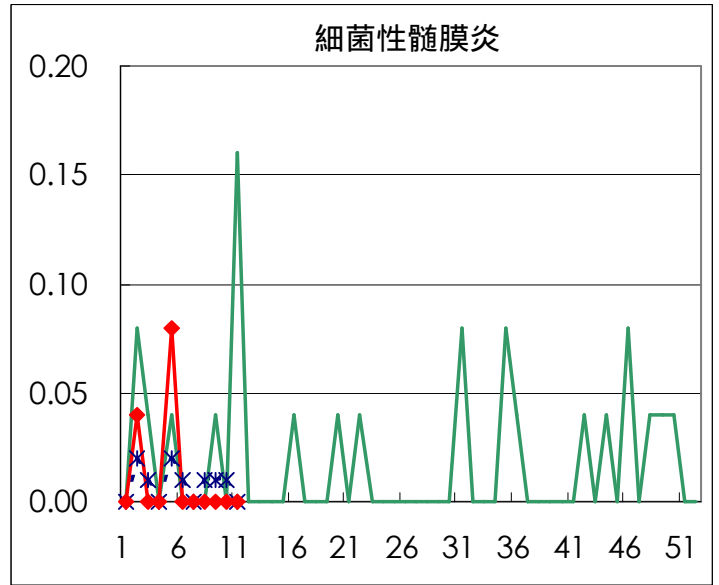
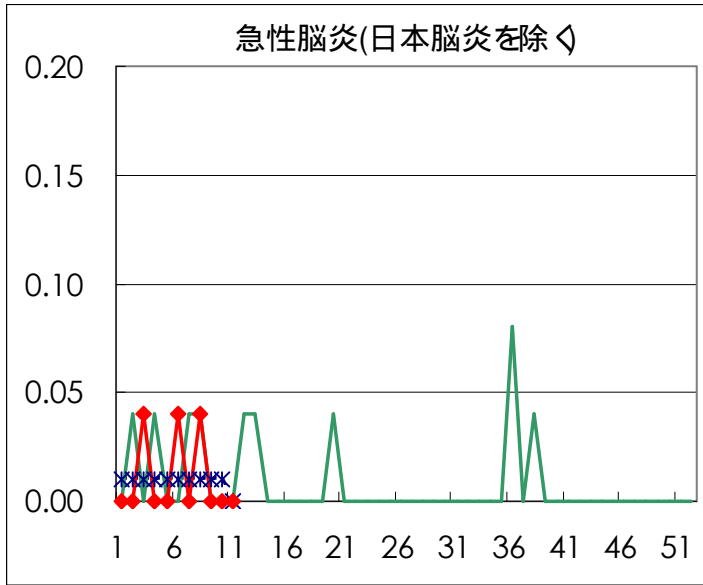
疾病別グラフ (四類定点週報告分)







疾病別の定点医療機関数	
疾病	医療機関数
インフルエンザ	178
急性出血性結膜炎	14
流行性角結膜炎	
急性脳炎	25
細菌性髄膜炎	
無菌性髄膜炎	
マイコプラズマ肺炎	
クラミジア肺炎	
成人麻疹	
上記を除く疾病	142



病原体検出情報

週別病原体 抗体検出結果 (2003年4～11週)

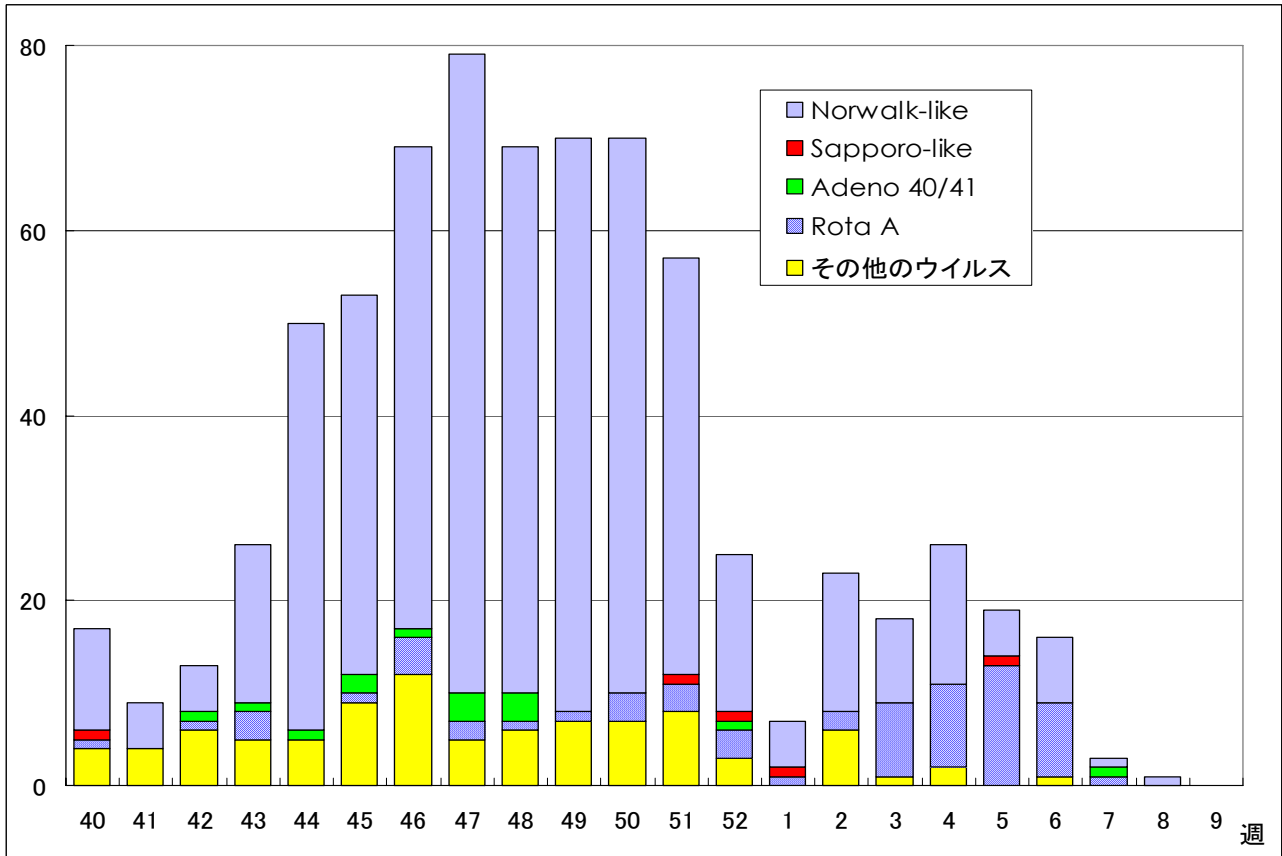
検出病原体 抗体		検体採取週								合計	
		2003年									
		4	5	6	7	8	9	10	11		
ウイルス	インフルエンザAソ連型										
	インフルエンザA香港型	16	22	15	5	2	1	1		62	
	インフルエンザB型	7	8	14	10	12	5	3	1	60	
	RSV	1		1				1		3	
	アデノ	5	1	2	3	3	1	7	4	26	
	エンテロ	6			1		1			8	
	ノーウォーク (SRSV)	198	13	51	74	22	18	33	24	433	
	ロタ	3	3		5	2		3	2	18	
	単純ヘルペス			1		1				2	
	水痘 帯状疱疹								1	1	
	EBV				1	1	1			3	
	CMV	1					1			2	
	HHV6/7	4	2	2	1	2	2	1		14	
	ムンプス										
	麻疹		1	1			1	1		4	
	パルボB19	1				1				2	
	分離型別	ポリオ1									
		ポリオ2									
		アデノ1		2					1		3
		アデノ2	1	1		1		1			4
		アデノ3	2				1				3
		エコー13									
	抗体	コクサッキーA6									
		デング									
	電顕	ツツガムシ									
細菌	カンピロバクター										
	サルモネラ										
	下痢原性大腸菌										
	エロモナス										
	O157										
	MRSAコアグララーゼ 型										
	MRSAコアグララーゼ 型	2			2	1	4	3	2	14	
	MRSAコアグララーゼ 型					1				1	
	MSSAコアグララーゼ 型							1		1	
	溶連菌 T-1型							1		1	
	溶連菌 T-3型		3				3			6	
	溶連菌 T-4型	1	1							2	
	溶連菌 T-6型										
	溶連菌 T-12型	2		1				1	3	7	
	溶連菌 T-22型										
	溶連菌 T-25型										
溶連菌 T-28型								1	1		
溶連菌 UT								1	1		
性感染症	梅毒		1	1		1			2	5	
	クラミジア抗体	26	14	16	33	1	37	23	28	178	
	クラミジア遺伝子	2	2				2		2	8	
	淋菌遺伝子	2		3			2			7	
	パピローマ	11	4	1	2	2	2	2	1	25	

臨床診断名別病原体検出結果 (2003年4~11週)

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ (脳炎を 含む)	上気道炎	下気道炎	咽頭結膜熱	A群溶血性 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	脳炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	発疹症	流行性耳下腺炎	口内炎	水痘	その他	合計	
インフルエンザAソ連型																		
インフルエンザA香港型	53		9														62	
インフルエンザB型	50		7													3	60	
RSV			3														3	
アデノ	2		9			5						3					7	26
アデノ1	1																2	3
アデノ2	1		1														2	4
アデノ3			2														1	3
エンテロ						2	2					3					1	8
エコー13																		
コクサッキーA6																		
ポリオ1																		
ポリオ2																		
ムンプス																		
ノーウォーク(SRSV)						433												433
ロタ						17											1	18
単純ヘルペス														1			1	2
水痘 帯状疱疹								1										1
パルボB19											1	1						2
カンピロバクター																		
サルモネラ																		
下痢原性大腸菌																		

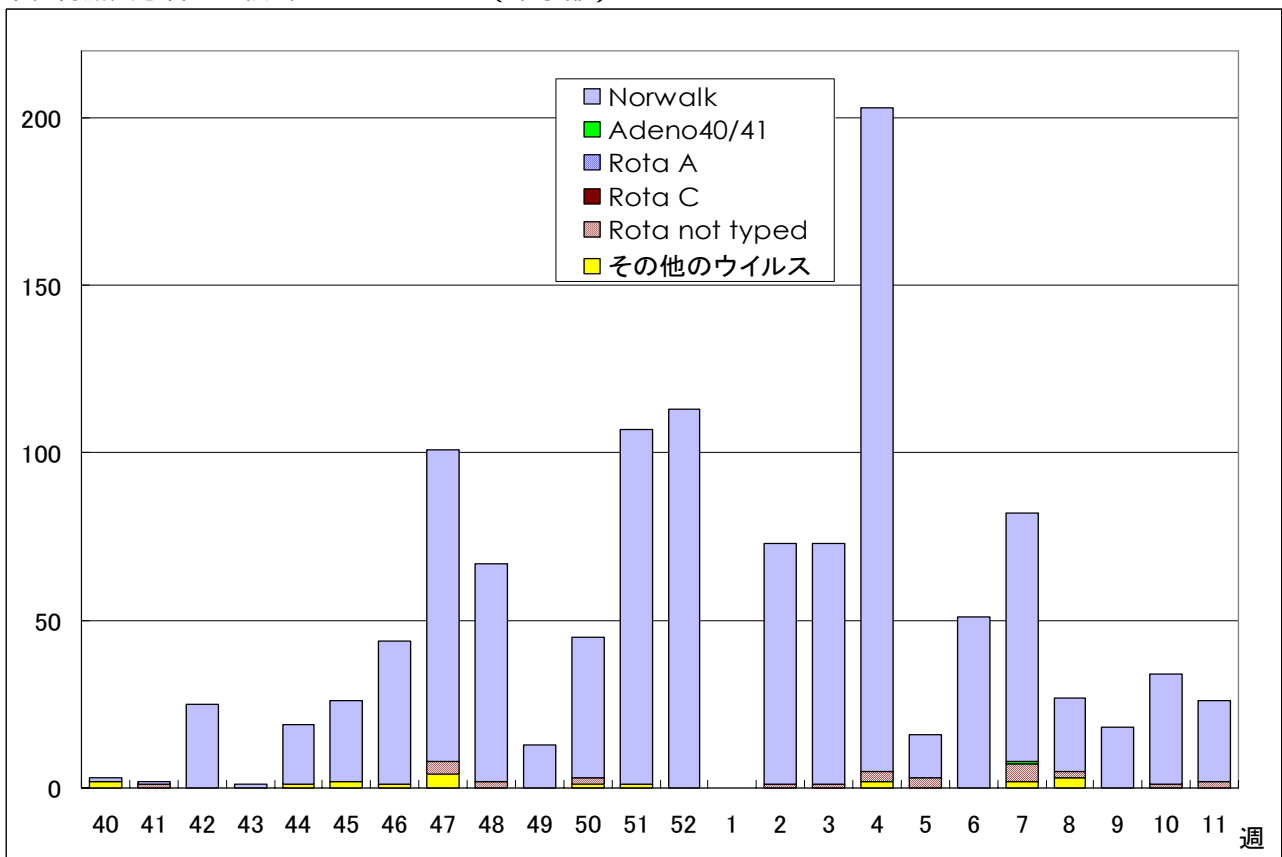
病原体グラフ (感染性胃腸炎)

感染性胃腸炎患者から検出されたウイルス (全国)



IASR 病原微生物検出情報 (2003年2月25日現在報告数)

感染性胃腸炎患者から検出されたウイルス (東京都)



ウイルス研究科/微生物研究科(集団発生を含む)
 (注)Norwalk(-like): SRSVで報告されたものを含む

年齢階級別累計表 (2003年 11週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	M C L S
～6ヶ月	2		1	4				3									
～1歳	4			57	5			40		1		3				1	
1歳	22	1	1	123	20			17				1			1	1	
2歳	29		5	105	17			1	1			2	3				
3歳	35	1	8	66	15								1				
4歳	47		10	81	17	1				1		1	5			1	
5歳	31		20	99	21		2						5				
6歳	60		9	52	11		3						3				
7歳	35		10	46	4		1						3				
8歳	16		4	44	1		3						2				
9歳	17		5	29							1	2	1				
10～14歳	45		3	66	2		1				1	2	2				
15～19歳	21			10								2	2				
20～29歳	30		2	123						2	1		2	1	2		
30～39歳	34														5		
40～49歳	18														2		
50～59歳	4																
60～69歳	4																
70～79歳																	
80歳以上																	
合計	454	2	78	905	113	1	10	61	1	4	3	13	29	1	10	3	0
先週比	-306	-6	-11	32	-12	-1	-4	15	1	3	1	9	4	0	3	-9	0

注：小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。

眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

保健所別累計表 (2003年11週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS	合計
千代田	4			7								1						12
中央区	10		4	22	2			1		1								40
みなと	13			1	5							1			3			23
新宿区	10			60	1		1	1		2			1		1	1		78
文京	12		4	6	1			1					1		1			26
台東	10		3	30	8			1					1					53
墨田区	15		1	10														26
江東区	9		8	19	2			1			1				1	1		42
品川区	19		1	34	5		1	2								1		63
目黒区	7			10	2			1										20
大田区	20	1		2	60	12		5					6					106
世田谷区	8	1		2	63	4		1	9									88
渋谷区	5			42	2	1		1					1					52
中野区	40		1	44	2		1	3					2	2				95
杉並	8			40	1				1									50
池袋	3			7	2								1					13
北区	14		8	39	2			4										67
荒川区	15		1	16	1										2			35
板橋区	4		9	18			1	2				1						35
練馬区	8		11	21	5		1	2										48
足立	6			33	7		1			1								48
葛飾	54		5	29	2			7					5					102
江戸川	35		5	41	9			1					1					92

保健所別累計表 (2003年11週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS	合計
多摩川	4		2	23	2													31
秋川	6		2	51	1			1					1					62
八王子	3			15	2			2					2		2			26
南多摩	17			12	5			1			2		1					38
町田	18		1	23	5		2	2				1	2					54
多摩立川	8		3	10	7													28
村山大和	2			14									1					17
府中小金井	7			9				1					1					18
狛江調布	8		4	22	2			6					1					43
三鷹武蔵野	15			22	3			1				1						42
多摩小平	20		1	21	1		1	2				2						48
多摩東村山	11			31	10			3				4	1	1				61
島しょ	6																	6

東京都合計	454	2	78	905	113	1	10	61	1	4	3	13	29	1	10	3	-	1688
定点当り報告数	2.55	0.01	0.55	6.37	0.80	0.01	0.07	0.43	0.01	0.03	0.02	0.09	0.20	0.07	0.71	0.02	-	

保健所別累計表 (定点当り) 2003年 11週

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS
千代田	0.80			1.75								0.25					
中央区	2.50		1.33	7.33	0.67			0.33		0.33							
みなと	1.86			0.17	0.83							0.17			3.00		
新宿区	1.43			10.00	0.17		0.17	0.17		0.33			0.17		0.50	0.17	
文京	3.00		1.33	2.00	0.33			0.33					0.33		1.00		
台東	2.50		1.00	10.00	2.67			0.33					0.33				
墨田区	3.75		0.33	3.33													
江東区	2.25		2.67	6.33	0.67			0.33			0.33				1.00	0.33	
品川区	2.71		0.17	5.67	0.83		0.17	0.33								0.17	
目黒区	1.75			3.33	0.67			0.33									
大田区	2.00	0.11	0.22	6.67	1.33			0.56					0.67				
世田谷区	0.89	0.13	0.25	7.88	0.50		0.13	1.13									
渋谷区	1.00			10.50	0.50	0.25		0.25					0.25				
中野区	5.71		0.17	7.33	0.33		0.17	0.50				0.33	0.33				
杉並	1.14			6.67	0.17				0.17								
池袋	0.50			1.40	0.40								0.20				
北区	2.80		2.00	9.75	0.50			1.00									
荒川区	5.00		0.50	8.00	0.50										2.00		
板橋区	0.57		1.50	3.00			0.17	0.33				0.17					
練馬区	1.33		2.20	4.20	1.00		0.20	0.40									
足立	1.20			8.25	1.75		0.25			0.25							
葛飾	10.80		1.25	7.25	0.50			1.75					1.25				
江戸川	7.00		1.25	10.25	2.25			0.25					0.25				

保健所別累計表 (定点当り) 2003年 11週

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS
多摩川	1.00		0.67	7.67	0.67												
秋川	2.00		1.00	25.50	0.50			0.50					0.50				
八王子	1.00			7.50	1.00			1.00					1.00		2.00		
南多摩	4.25			4.00	1.67			0.33			0.67		0.33				
町田	6.00		0.50	11.50	2.50		1.00	1.00				0.50	1.00				
多摩立川	1.60		0.75	2.50	1.75												
村山大和	0.67			7.00									0.50				
府中小金井	1.75			3.00				0.33					0.33				
狛江調布	2.00		1.33	7.33	0.67			2.00					0.33				
三鷹武蔵野	3.00			5.50	0.75			0.25				0.25					
多摩小平	5.00		0.33	7.00	0.33		0.33	0.67				0.67					
多摩東村山	2.75			10.33	3.33			1.00				1.33	0.33	1.00			
島しょ	3.00																

東京都合計	454	2	78	905	113	1	10	61	1	4	3	13	29	1	10	3	-
定点当り報告数	2.55	0.01	0.55	6.37	0.80	0.01	0.07	0.43	0.01	0.03	0.02	0.09	0.20	0.07	0.71	0.02	-

重症急性呼吸器症候群 (SARS :Severe Acute Respiratory Syndrome)

概要

2月1日以降3月22日までに350を超えるSARSの症例がWHOに報告されている。重症例、死亡例もある。当初中国、香港及びベトナム・ハノイから報告されたが、数か国へ広がりを見せている。

不明な点も依然として多いが、この間に多くのことが解ってきた。発症者の多くは(患者に関係した)医療従事者および患者の家族等であり、容易に多数の人に感染が拡大する疾患ではないと考えられる。感染には多くの場合、密接な接触(close contact :程度に関しては調査中)が必要と考えられる。また致死率も高くないと考えられ、回復した例も報告されている。医療従事者についても適切な防御策を講じることで、感染を防ぐことが可能と考えられる。原因としてはウイルス感染の疑いが濃厚である。

WHO、CDCを始め世界中の多くの保健医療関係者が危機感を持ち、協力してこの健康危機に立ち向かっている。

報告があった国(WHOによる)

表1 : SARSの報告数(2月1日～3月22日) 国 症例数 死亡数 現地での感染

国	症例数	死亡数	現地での感染	(+) 中国当局は広東省での症例を報告した。現在アップデート中。 報告数は累計であり Suspect Case(疑い例)と Probable Case(確定的な例)が含まれる。 その他には現地での感染無(輸入例であり二次感染がないことを示す)及び調査中の以下の国が含まれる。 現地での感染無: ドイツ、イタリア、アイルランド、スロベニア、スペイン、タイ、イギリス 調査中: スイス、アメリカ
カナダ	9	2	有	
中国 ⁽⁺⁾			有	
香港	222	7	有	
シンガポール	44	0	有	
台湾	6	0	有	
ベトナム	63	2	有	
その他	42	0		
計	386	11		

原因

現在(3月22日)までのところ確定はできていないが、ウイルス感染の疑いが濃厚である。

21日及び22日のWHOのレポートによると、SARSの原因と考えられるウイルスの分離培養に成功した。回復期のSARS患者血清を用いた中和抗体試験で発育が阻止できた。SARSの原因はパラミクソウイルス科のウイルス感染の疑いが濃厚である。また検査法の研究も行われており、患者血清から抗体を検出する方法で一定の成果を上げている。さらなる研究が続けられている。

(注):中和抗体試験:回復期の患者血清には抗体が含まれるため、原因ウイルスが血清に暴露されると発育が阻止される。一方健康人の血清の場合は原因ウイルスが血清に暴露されても発育は阻止されない。

(注):パラミクソウイルス科には麻疹ウイルス(はしか)、ムンプスウイルス(流行性耳下腺炎:おたふく風邪)、パラインフルエンザウイルス、RSウイルスなどが含まれる。

感染経路

患者の飛沫及び分泌液(bodily secretions :鼻汁等)を通じて感染すると想定されている。また患者との密接な接触(close contact :程度に関しては調査中)が必要と想定されている。

潜伏期間

2～7日の範囲で通常3～5日と考えられる。(WHO・Q&A)

症状、診断 (WHOの定義)

疑い例 (Suspect Case)

2003年2月1日以降に以下の症状を示すもの。

高熱 (38度以上)

and

咳、呼吸促迫、呼吸困難を含む呼吸器症状が1つ以上

and

以下のうちの1つ以上

- ・ SARSと診断された人との、発症前10日以内の密接な接触
- ・ SARSが報告されている主な地域への、発症前10日以内の旅行歴 (表2参照)

(注:密接な接触:看護、同居、SARSの患者の呼吸器分泌物や血液等 (body fluids)への直接接触)

表2: SARSの影響を受けている地域 (Affected Areas)

国	地域
カナダ	トロント
中国	広東省、香港、台湾
シンガポール	シンガポール
ベトナム	ハノイ

注:3月22日現在、WHOの作成した表を日本語に訳した

確定的な例 (Probable Case)

疑い例の条件を満たし、胸部X線で肺炎が認められるか、呼吸不全症候群があるもの。

or

診断がつかない呼吸器疾患の死亡例で、剖検の結果原因不明の呼吸不全症候群の病理像をしめすもの。

発熱や呼吸器症状に加え、頭痛、筋肉硬直、食欲不振、不快感、錯乱、発疹、下痢が合併することがありえる。

SARSは除外診断であり、既知の疾患が診断された場合はその段階でSARSを考慮する必要はない。

治療

対症療法 (呼吸管理等)が中心となる。抗生物質は無効と考えられる。

臨床像、治療法の3月21日時点の知見は、WHO・Weekly Epidemiological Record (No12, 2003) <http://www.who.int/wer/pdf/2003/wer7812.pdf> に記載されている。リバビリン (抗ウイルス薬)及びステロイドに関する記載もある。

医療従事者の感染防護策としてはマスクの着用等。3月18日付厚生労働省通知 <http://www.tokyo-eiken.go.jp/IDSC/SARS/mhlw0318002.pdf> に記載されている。

その他

WHOの定めた地域 (Affected Areas:表2)の旅行者で、帰国後10日以内に38度以上の発熱や咳、息切れ、呼吸困難感などの呼吸器症状がある場合は、人との接触をできるだけ控え医療機関で受診する必要がある。

(2003年3月23日 疫学情報室 大石 修)